

令和元年度第3回仙北地域協議会会議録

令和元年9月25日

仙北地域協議会

令和元年度第3回仙北地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
(1) 地域枠予算について	3
(2) 「令和元年度大仙市仙北地域の未来（あす）を語る会」について	1 3
■その他	1 7
(1) 「川前西町内会環境美化事業」が国土交通省湯沢河川国道事務所 から表彰された件についての紹介	1 7
(2) 東部地区地域協議会合同研修会・交流会について	1 8
■閉会	2 0
■署名	2 0

令和元年度 第3回仙北地域協議会 会議録

■日 時：令和元年9月25日（水） 午後6時

■会 場：さくまろ館 大研修室

■出席委員：8名

石田 常 盤、 大 河 奈々子、 後 藤 孝 子、 小 松 郁 子、
佐 藤 美佐子、 中 村 健 秀、 藤 原 稔、 吉 田 利 雄

■欠席委員：8名

大 釜 滝 浩、 草 弼 美 香、 小 柳 伸 一、 佐 藤 あや子、
佐 藤 隆 造、 タベルスキ マイケル、 原 隆 新、 森 元 通 友

■出席職員：7名

藤嶋 勝広（仙北支所長）	高橋 明子（市民サービス課長）
佐藤 治彦（農林建設課長）	小松 暢子（仙北公民館長）
佐藤 漱（仙北公民館主事）	佐々木 励二（地域活性化推進室主査）
川原 文人（地域活性化推進室主任）	

■次 第：

- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 支所長あいさつ
 - 4 会議録署名委員の指名
 - 5 協 議
 - 6 そ の 他
 - 7 閉 会
-

(午後 6時 開会)

○吉田会長 (以下「会長」と表記)

みなさん、お晩でございます。大変、作業のお疲れのなかであったと思いますが、ご出席いただきましてありがとうございます。また、農作業等で非常に頑張っているなかでの開催でございますが、ご理解いただいてのご出席、重ねて御礼申し上げます。

また、皆さんご承知のとおり、先般、ここの地域協議会に申請がございました、仙北中学校のスポーツ関係では非常に頑張っていたいて、全国の方に野球とバレー、それから東北大会の方には吹奏楽というふうに非常に大きく飛躍して、この大仙市のなかでも仙北という地域が大きくPRできたのが、ひとつの大きな喜びであったと思います。特に野球の子どもたちは非常に人数が少ないなかで全国3位まで行ったということが、我々この仙北地域ばかりでなく、秋田県全体も大きく響かせたなと感じているところでございます。我々のこの地域協議会の少しばかりの金額ではございましたが、有意義に活用していただいたということについては、我々としても非常に嬉しい限りでございます。

今日も大変限られた時間の中での協議になろうかと思いますが、みなさんのご理解、ご協力をいただきながら、この限られた人数でございます。今日は非常に欠席者が多いのですが、これも致し方がないということで、みなさんからご理解いただきながら進めてまいりたいと思いますので、よろしく申しあげまして挨拶に代えます。今日はご苦勞様でございます。

○藤嶋支所長 (以下「支所長」と表記)

お晩です。まず、3連休の後半に台風17号、列島上陸せずに日本海を上がってくる台風は非常に怖いということで心配していたのですが、まずは大きな被害がなく、ほっとしているところでございます。

それから、吉田会長の方から、仙北中の部活動の大躍進、大活躍というお話がありましたが、新人戦の時期になり、野球の方は大曲仙北で優勝ということです。それから、剣道の男子団体も大曲仙北の新人戦で優勝、ともに全県大会に出場するというので、まだまだ頑張った3年生を引き継いで頑張ってくれているということで、非常に嬉しく思っているところであります。

また、第1回目の地域協議会で地域枠予算の承認をいただいております関係ですが、11月16日(土)に、ふるさと会の25周年の総会が東京・市ヶ谷で開催されることになっております。こちらの方では、昨年秋に結成した応援する会で、あじさいコーラスのみなさんと、地元のメジャー歌手のかさはらもとじさん、仙北出身の小松ミユキさんの3組による25周年記念コンサートを、総会の交流会場で開催させていただくことにしております。この地域協議会のメンバーの中でも何名か、応援する会の会員にもなっていておりますし、当日、東京の方に出向かれる方もいらっしゃると思いますが、ぜひ興味のある方は、まずは、応援する会に年会費1,000円払っていただいて、会員になっていただければな、とお願いをして、簡単ですけれども挨拶としたいと思います。

今日の案件といたしましては、地域枠予算の審議の他に、今回やると5回目となります、仙北地域の未来（あす）を語る会の中身について等々、ご協議いただくこととしておりますので、どうかよろしくお願ひしたいと思ひます。

○会長

それでは、議事に入る前に、本日の会議録の署名委員を務めていただく方をお願ひしたいと思います。中村副会長さんと藤原委員さんからお願ひいたします。ただいまから、地域枠予算の方に入らせていただきますが、No. 21につきましては、すでに皆さんの方に書面でご審議いただいているところでございます。改めてここで、事務局の方から説明を願ひます。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

- ・市民主導型

No. 21 「上村・鶴田地区演芸灯籠夏祭り・冬祭り天筆賑わい創出事業」

事業目的：上村地区では毎年「夏祭り演芸会・冬祭り天筆」を開催している。昨年度からは鶴田自治会や老人クラブ等からも協力をしてもらい、委員会を立ち上げ、例年実施している演芸会に加え、「灯籠祭り」を新たに実施する。また、冬祭りの天筆では、昨年度から実施している「幟天筆」を継続実施して、地域間の交流を一層促進させ、夏祭り冬祭りの賑わい創出を図る。

申請団体：上村・鶴田地区活性化委員会

申請額：233,300円（補助金）

○会長

ただいま、事務局の方から書面での決議の内容を報告させていただいたわけですが、異議を申し立てた方はいらっしゃらずに、ぜひ推奨してほしいという励ましの言葉もあったようでございます。当事者の石田委員さんもお出ででございますが、ご難儀をかけて、有意義な活動をされたということだと思いますので、今後も地域の活動にますますご尽力いただければと思います。これについては、皆さんから書面で審議をいただいておりますので、議決は取りません。よろしいですね。

（「はい」の声あり）

石田さんの方から一言あれば。

○石田常盤委員

いや、特にありません。

○会長

よろしいですか。それでは、No. 21につきましては、先ほどから申し上げておりま

すが、書面決議をいただいて、賛同いただいたものとして報告に代えさせていただきます。
それでは、N o . 2 2 のこれも報告でございます。事務局から説明願います。

○事務局（高橋市民サービス課長）

配布資料に基づき説明。

- ・地域緊急型

N o . 2 2 「高梨小学校前の樹木の枝の伐採処理事業」

事業目的：高梨小学校前の池田文太郎銅像広場前およびひまわり児童クラブ敷地の樹木が、それぞれ県道に張り出しており、小学校前に設置されている信号機が見えづらい状況にある。張り出した枝を伐採することで、児童・通行者・車の安全安心を確保するため。

申請団体：仙北支所市民サービス課

申請額：295,920円（委託料）

○会長

ただいま、地域緊急型で処理させていただいたという説明がございましたけれども、やはり県道の方へだいぶ樹木が張り出しているという状況なので、交通に対して支障をきたすということでの対応のようですが、これについていかがですか。いま、説明がございましたけれども、全部はまだできてないようですが、その期間内に対応できるということで、その間事故のないように務めさせていただければな、と思います。秋の交通安全週間にもなっておりますので、そのあたりも考慮しながら、事業を進めていただければと思います。よろしいでしょうか。

（「はい」の声多数）

ありがとうございました。それでは、ご理解いただいたものとさせていただきます。

次の、N o . 2 3 でございます。行政主導型でございます。説明願います。

○事務局（市民サービス課）

配布資料に基づき説明。

- ・行政主導型

N o . 2 3 「仙北地域コミュニティ用品拡充」

事業目的：現在仙北支所では、13台のコミュニティ用テントを所管しており、地域内外の団体へ貸出を行なうことで、各地のコミュニティ行事に利用されている。テント用のウエイトがテント台数に対して不足しているため、ウエイトを追加して活用拡大を図る。また、テント用の横幕については現在4セットあるが、申請団体からの要望が多いことから追加補充する。

申請団体：仙北支所市民サービス課

申請額：170,100円（消耗品費）

○会長

ただいま、説明がございましたけれども、みなさんからご意見をいただきたいと思いますが、藤原委員さんいかがですか。

○藤原稔委員

このウエイトですけれども、テント1台につき何個必要なのですか。

○事務局（市民サービス課）

今使っているテントは1台につき脚6本ありますので、6個必要です。予備も含めまして今回10個としております。頻繁に貸出しておりますので、実際に返却されたときに紛失している事例がたまにありますので、予備ということで少し多めに購入するものです。

○藤原稔委員

安全に使ってもらうためにウエイトが必要だと思うのですが、1張分しか入っていないじゃないですか。そのあたりは、在庫としてはまだあるということですか。

○事務局（市民サービス課）

テントが13台あるうちの、ウエイトが12台分しかないので、実際は1台使えないことが発覚してしまって、ウエイトがない状態で貸し出すということなので、それで購入したいということです。

○藤原稔委員

わかりました。

○会長

小松委員さん、いかがですか。

○小松郁子委員

もし災害が起こったときにもあった方がいいと思います。テントの内容については、詳しくないのですが、テントは数多い方がいろいろな場面で使うことができるので、私はいいいことだと思います。

○会長

ありがとうございました。その他にご意見ございませんか。よろしいですか。

10月になると消費税10%になるのですが、この見積書の記載が8%になっていますが、今発注すれば処理できるものですか。10%になることはないですか。

○事務局（市民サービス課）

見積業者のルーキースポーツさんに確認したところ、今回の協議会で承認いただければ、9月中に発注すれば、8%でいいとのことでした。

○会長

そのあたりうまくやらなければ、お互いに、業者も指導を受ける可能性があるのでは、配慮願いたいと思います。

それでは、今ご意見いただきましたけれども、No. 23の行政主導型については、よろしいでしょうか。

（「はい」の声多数）

はい、ありがとうございました。それでは、可決させていただいて、No. 24の継続の市民協働型について、説明願います。

○事務局（小松仙北公民館長）

配布資料に基づき説明。

- ・市民協働型

No. 24「史跡の里の秋まつり」

事業目的：仙北地域で活動している芸術文化団体や地域活動団体の発表する場を提供するとともに、幼稚園や小中学校、高齢者施設の作品を展示して、老若男女が集い世代間交流できる場をつくり、地域住民の相互理解を深め地域活性化を図ることを目的とする。

申請団体：仙北公民館

申請額：443,007円（印刷製本費、消耗品費、郵便料、手数料、委託料、使用料及び賃借料）

○会長

ただいま、説明いただきましたけれども、みなさんからご意見いただきたいと思います。佐藤委員さん、いかがですか。

○佐藤美佐子委員

毎年の秋祭りということで、子どもたちも楽しみにしていると思いますので、子どもさん向けのコーナーもありますし、お願いしたいと思います。

○会長

後継者の楽しみも作るということで、賛成という声でございます。中村委員さんいかがですか。

○中村健秀副会長

人権擁護の啓発で、うちわを配ったりしていましたよね。たくさん並んでいて、大人気だったと思います。楽しみにしているお子さんも多いので、ぜひ引き続き、続けてやっていただきたいと思います。

○会長

ただいま、2名の委員さんからご意見いただきましたが、みなさんは継続して推進していただきたいという意見のようですが、その他に意見ございませんか。

○藤原稔委員

支出の切手代の82円と83円の違いは为什么呢。

○後藤孝子委員

10月から消費税上がりますよね。

○会長

2円くらい上がりますよね。

○小松仙北公民館長

正しくは84円ですね。やりくりをして、予算以内に収めたいと思います。

○会長

差分だけ調整していただければと思います。そのほか、ございませんか。

○後藤孝子委員

芸文協の作品を通年展示させていただいていますが、素晴らしい作品がたくさんあります。この機会にじっくり見ていただいて、会員の励みにもなりますので、これからも継続していただきたいと思います。

○会長

活動の評価もしてほしいということですから、みなさんも出席してもらって、見て欲しいということだと思います。No. 24についてはよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございます。それでは、No. 25の市民主導型でございます。これについて説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

・市民主導型

N o . 2 5 「史跡の里の食文化継承事業」

事業目的：仙北地域の伝統文化や、料理等の継承、地域の活性化を目的として、女性団体の連合体として平成29年に当会が設立され、料理講習会などを開催、活動している。主催する料理講習会で、地域で比較的入手しやすい柿などをドライフルーツに加工する講習を行い、成果品を旧池田氏庭園ライトアップイベント等で販売することで、地域の食文化の継承と地域活性化に寄与したい。

申請団体：ふれあい交流さくまる会

申請額：25,339円（地域づくり補助金）

○会長

ただいま、N o . 2 5 の「史跡の里の食文化継承事業」について説明ございましたが、これについて、みなさんからご意見をいただきたいと思います。

○事務局（地域活性化推進室）

消費税について、28ページの収支予算書を掲載していますが、今月中に発注しまして、発送された段階で9月中であれば8%だということです。

○会長

今月中に発送されればいいけども。

○事務局（地域活性化推進室）

そうです。

○会長

わかりました。補足がありましたけれども、なにかございませんか。

○石田常盤委員

機械は普段、どこで保管するのですか。

○事務局（地域活性化推進室）

保管はさくまる館を検討しています。

○石田常盤委員

使い道は、料理教室とかですか。

○会長

乾燥食品として加工して、イベントの時に売りたいということでしょうか。

○佐藤美佐子委員

私、会員ですけれども、今まで餅の講習などをやっていたのですが、新しいことに挑戦しようということで、柿が多くなっているけれども、そのまま捨てられることが多いので、保存食を作って、料理講習会を開催して人を集めて、こういうのをやってみたらどうですか、ということで、実験的にやりたいと提案したということです。

○石田常盤委員

せっかくですから、いろいろ使っていただければと思います。

○佐藤美佐子委員

そうですね、大根もいっぱい取れたときに、切り干しも作れたりできると思うので、売るかどうかは別として、いろいろ試作してみて特産品みたいになればと思います。

○後藤孝子委員

日持ちは、ドライフルーツにした場合、どのくらいなのか。

○佐藤美佐子委員

パックを上手にすればいいのですが、だいたい1週間以内とか、冷凍にすればちょっともつくらいのイメージです。売るところまでいけるかは分からないのですが。

○会長

これ、保健所は関係ないのですか。

○佐藤美佐子委員

売るとなると保健所が関係するのですが、今回は作るところまでなので。

○会長

金額的にみると、業務用ではないですね。

○佐藤美佐子委員

家庭用です。

○会長

試作してみて良ければ、それこそ、ひとづくり・ものづくり応援事業の方に発展していくかもしれませんね。

○小松郁子委員

野菜は栄養価など上がるみたいですよ。

○佐藤美佐子委員

そうらしいですね。

○会長

そういうものが、ビジネスとしてなっていくと、保健所など衛生環境とか厳しくなると
思います。

○藤原稔委員

実際にこの設備を使って、椎茸などスライスしてやると、普通に干し椎茸ができると思
うので、衛生面はあまり心配ないのかなとも思うのですが。

○佐藤美佐子委員

その辺は聞いてみないと分からないです。

○会長

フルーツ関係のドライ加工もできると思いますよ。みかんでも輪切りにしたものもでき
るようですし。

○佐藤美佐子委員

説明にビーフジャーキーもできると書かかれていますよね。

○会長

そうなってくると、保健所、衛生管理の問題が出てくると思いますよね。その辺、あま
り抵触しないようにしていただければ。

○佐藤美佐子委員

そうですね。

○支所長

柿に関しては、去年、佐藤委員さんのご自宅にある機械で、作っていただいたものをい
ただきました。とても美味しかったです。

○会長

ということですが、いかがですか。よろしいですか。
（「はい」の声あり）

では、みなさんからご理解いただいたものとさせていただきます、次にNo. 26の市民協働型について、説明をお願いします。

○事務局（佐藤農林建設課長）

配布資料に基づき説明。

- ・市民協働型

No. 26 「史跡の里せんぼく米PR事業」

事業目的： 仙北産の新米あきたこまち他1品種の試作品を作成し、仙北地域で開催される秋のイベント時と首都圏仙北町ふるさと会開催時に配布することで、仙北産米のPR及び仙北地域の観光PRを図る。また、仙北産新米に関する消費者の意向調査を実施し、史跡の里せんぼく米のブランド化に向けた契機とする。

申請団体：大仙市仙北地区認定農業者協議会

申請額：620,889円（消耗品費・印刷製本費・郵便料）

○会長

ありがとうございました。ただいま、説明いただきましたが、この件について、みなさんからご意見をいただきたいと思います。大河委員さん、いかがですか。

○大河奈々子委員

ぜひ、ブランド化していただきたいと思います。すごくいいと思います。

○中村健秀副会長

以前、ペットボトルとかでやってなかったですか。

○支所長

おとしがペットボトルだけでやりました。そこで、ペットボトルでない方がよいとの意見も出て、去年はペットボトルと紙袋と半々にして、今年は海洋汚染とかの話もあるので、紙袋で行なう予定です。

○中村健秀副会長

コスト的にはどうですか。

○支所長

ペットボトルの方が高いです。

○会長

以前、未来を語る会の時に、自販機でも売れないかとの意見が出されたことがあって、

それでペットボトルにした経緯があるが、それに対応した自販機を求めるわけにもいかなかった。5キロとかの米を持って歩くよりは、ペットボトルに詰めて、水を買ってご飯を炊けるが、設備が整っていないくて厳しいことになっている。そこで紙袋でやろうということになったと思います。いろいろと試行錯誤してもらうのは結構だと思います。

今、大河委員さんからお話があったように、ここの地場産業が農業なので、売れて消費されることによって、この地域の産業が発展していくことでしょうから。また秋田の米の新しい品種が来年あたりから出るみたいですし。

○藤原稔委員

来年プレデビューで、「秋系821」です。

○佐藤美佐子委員

去年のアンケートはどのような意見が出されましたか。

○事務局（佐藤農林建設課長）

去年、ペットボトルでやったのですが、もらった人から、シールのラベルをはがすなどの処分が大変だったとの意見がありました。それで今年は紙袋にしようということです。去年はただプレゼント、という形にしたのですが、今年は、地域の観光地を回ってもらって、3袋を1箱セットにして、食べ比べができるようなプレゼント、ということにしました。

○会長

補足がありましたが、後藤委員さん、いかがですか。

○後藤孝子委員

いいと思います。

○石田常盤委員

米の値段ですが、これで大丈夫ですか。30kgで9,000円とのことですが。

○藤原稔委員

妥当だと思います。

○石田常盤委員

はい、わかりました。

○後藤孝子委員

ゆめおぼこは食べたことないですけど、あきたこまちとは違うものですか。

○藤原稔委員

ゆめおぼこは、あきたこまちよりも大粒で、冷めてもおいしい、おにぎりに向くような品種です。今は、加工米、業務用米で流通している品種です。コンビニなどでもスポット的にゆめおぼこのおにぎりが販売されています。

○会長

みなさんからご理解いただいて、消費拡大すれば、この上ない喜びだと思います。その他にご意見ございませんか。藤原さんから補足ございませんか。

○藤原稔委員

旧池田氏庭園と、柵の湯の2ヶ所を訪問すればよい、ということですか。

○事務局（佐藤農林建設課長）

プレゼントするのが、秋のライトアップの会場となっていますので、結局3ヶ所ということです。最初に旧池田氏庭園と、柵の湯のどちらかにいっていただいて、例えば、先に柵の湯に行ってスタンプをもらって、その次に旧池田氏庭園でスタンプをもらって、最後にライトアップ会場に来ていただいた方を対象としてやりたい。そうすれば、イベントに来てくれる方も若干増えるのでは、と思う。チラシ・応募要項は柵の湯と旧池田氏庭園にも置いておきます。

○藤原稔委員

200セットとありますが、ライトアップの駐車スペースは大丈夫ですか。

○支所長

大丈夫です。

○会長

よろしければ、地域枠予算の協議については、これで閉じたいと思いますが、よろしいですか。

（「はい」の声多数）

それでは、（1）地域枠予算については閉じて、（2）令和元年度大仙市仙北地域の未来を語る会について、事務局から説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

○支所長

補足ですが、あいさつでも話したとおり、今年度実施すると5回目ということで、毎回少しずつ中身を変えながら組み立ててやってきたのですが、資料の案のとおり、これまではこのような形式で実施してきました。それぞれ、参加していただいた委員の方もおります。1年目は、「株式会社せん」の、水野社長さんの講演を聴いて、その後グループワークでの意見交換を行ないましたし、次の年は農業・食をテーマにした会、3回目は、中学生から来てもらって発表してもらい、去年は講演をメインにして実施した会と、4回それぞれ特徴あるやり方で実施してきました。

できれば今日、時間のある範囲で、みなさんから具体的にこういう講演がいいんじゃないか、などの思いをお聞かせいただければ、次回の協議会までに具体化して、みなさんにご提案してさらに詰めていければ、と思います。

開催時期に関しては、1回目は寒い時期にやって、2回目以降は年内の11月23日に決めて、地域協議会と兼ねて実施しておりましたので、地域協議会の審議に合わせた地域枠予算の申請ができないことから、12月から1月に実施させていただきたい、ということです。祝祭日に行なってきたものを、引き続き休みの日にするのか、平日でもよろしいかなど、忌憚のないご意見をいただきたいと思いますし、今日、議題にさせていただいたところです。よろしくお願いいたします。

○会長

ただいま、支所長からお話がございました。みなさんご承知のとおり、未来を語る会は今回やると5回目ということです。

まず、開催日についてみなさんからご審議いただきたいと思います。今年中なのか、年明けでもいいのか、というご意見をいただきたいと思います。年明けの土曜日・日曜日、平日は、勤めている委員もいらっしゃいますので、出席していただけるには、今までどおり休みの方がいいと思います。後藤さんいかがですか。

○後藤孝子委員

休みの方がいいと思います。

○会長

小松さんいかがですか。

○小松郁子委員

休みの日が、みなさん出やすいと思います。

○会長

藤原さんいかがですか。

○藤原稔委員

いつでもいいです。

○会長

大河委員さん、いかがですか。

○大河奈々子委員

休みの方がいいです。

○会長

開催日は休日、日・祝で。あとは、1月でよろしいですか。

○中村副会長

年末近いよりは、年明けの方がいいのでは。

○支所長

1月13日が成人の日、2月に入れば11日が建国記念の日です。

○会長

1月の日曜日は、12日と19日があります。13日か19日で決めますか。いかがですか。まず予定ですので。

テーマはどうしますか。

○支所長

事務局の案とすれば意見交換会、去年は意見交換を省いた形でやらせてもらいましたが、そもそも未来を語る、ということで、呼んできた講師に語られているだけというのも違うと思うので。住民の方々が意見交換し合うというのが目的だということもあるのでは。

○事務局（地域活性化推進室）

事務局案として、①案はほぼ去年と同じ、よそから功績のある講師に講演していただく形式ですが、講演の内容がこの地域に合うのかどうかという問題もあって、講師にしてみれば他人事に聞えてしまうということもあって、それに対して意見を出してもらうのがなかなか難しいと思います。シンポジウム状態で終わってしまうのではなく、意見を出して、議論してもらって盛り上がる、という状況が望ましいです。

②案であれば、実際に市役所の組織や支所の事業、みなさんにも身近な案件だと思えますので、議論もしやすいテーマだと思いますし、③案は、個別のテーマ、例えば防災なら防災にテーマを絞って、その分野で活躍した身近な地元の方などを講師として呼んで講演をしてもらうことで、みなさんが意見を出しやすい形式がいいと思っております。よそか

ら講師を呼んで終わり、というのは避けたい、というのが事務局案です。

○会長

ただいま説明がございましたが、できれば①ではなく、②や③からテーマを捻出したいということでしたが、みなさんいかがでしょうか。

○石田常盤委員

災害が多いので、安全な生活を考えるうえで、防災をテーマにしてもらえば、と思います。

○会長

防災をテーマに、という石田委員さんからのお話がございました。以前、小柳さんから、防災関係の話された経緯もあり、みなさんから意見をいただいて集約したものが事務局にあるはずだと思うのですが、去年あたりだと思います。それを活用して、委員のみなさんからフィードバックされているということで。仙北地区でも、水害のハザードマップでは、この辺も水没する環境の中にあるようですので。そのほかに、なにかございますか。

○佐藤美佐子委員

今、問題になっている、環境について、若い人たちにも浸透していると思います。身近なことといえば、ごみの分別をちゃんとしてほしいな、と思っています。捨て方とか、リサイクルのこととか。

○支所長

防災と環境だとすれば、似たような切り口でできる方法もあるので、防災ひとつだけでなく、防災と環境というテーマでも実施できる気がします。

実は毎年、大曲仙北旧合併前14市町村持ち回りで防災訓練をやっております。今年は西仙北、来年度は美郷町、令和3年度がここ仙北の当番となっております。防災・環境については、これまで取り上げていないテーマですので、非常にいいテーマだと思います。

内容をある程度組み立てさせてもらって、具体的な提案を次回させてもらって詰めてもらう、ということはいかがでしょう。

○会長

ということで、テーマが防災と環境ということで、いかがでしょう。その他にご意見ございますか。中村委員さん、なにかございませんか。

○中村副会長

いいと思います。

史跡の里せんぼくPR事業などについて、地域の中で知っている人が少ないのかなと思

ったりもしています。こういうことの取り組みを通して、仙北地域をPRしているんだよということを、地域協議会の中での議論だけでなく、このような会で伝えることで、もっと人が集まればもっといろいろな意見が出てくると思います。ただ、意見の集約の仕方も分からないですし。

例えば、米PR事業にしても、こんな立派なものもらったらすごくありがたいと思いますし、これで販売したらお歳暮にも使いたいくらいだとも思えたりして。

防災の方をやってもらってもいいと思います。今の時代のニーズだと思います。

○会長

その他ございませんか。町のPRについて、地場産業の農業についてのPRが不足しているのでは、ということテーマにという意見です。確かに、これまで4回やった中では、講師の先生が来て、話をした内容と、仙北地域にどのような違いがあるのか、という経緯だけで、町民に対してフィードバックまではなかなかしていなかったと思います。

今の2つの意見が出ましたが、今日決めなければならないということではないとのことですから、方向性を11月の協議会に提示していただいて、その際にご意見いただきながら方向性を見出す、ということでしょうか。佐藤委員さん、石田委員さん、中村委員さん、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

そのようにして、2つの案を出していただきました。

開催日につきましては、1月13日か19日ということでご理解いただきたいと思います。事務局の方もよろしいでしょうか。支所長よろしいですか。

○支所長

はい。

○会長

(2)の未来を語る会まで進めたわけでございます。その他がございまして、事務局から説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

①「川前西町内会環境美化事業」が国土交通省湯沢河川国道事務所から表彰され、その表彰式の模様を紹介。

○佐藤美佐子委員

地域予算で行っている事業ですが、3年で表彰されるというのは珍しいようで、ハーブを植えたりなどして1年中花が咲いているのがすごくいいということで、所長さんから、他にも広げたいとお言葉をいただいて、おかげ様でした。ありがとうございました。

(場内拍手)

○会長

これも継続して、せっかく表彰いただきましたので。

○佐藤美佐子委員

きれいにしていると、犯罪も少なく、環境もいいということではなりました。

○会長

今までの花壇の作り方と違って、庭園スタイルでインパクトあるな、と思っていました。おめでとうございます。

○佐藤美佐子委員

ありがとうございました。

○会長

その他ございませんか。事務局の方から。

○事務局（地域活性化推進室）

配布資料に基づき説明。

②東部地区地域協議会合同研修会・交流会について

○会長

ただいま、東部3地域の合同研修会・交流会について説明をいただきました。去年は太田地域担当で、角間川の旧本郷家住宅を見ながら、中里温泉で交流会という経緯でした。

今年度は仙北地域が担当ということのようでございます。みなさんからご意見をいただきながら、開催日時についてもご意見をいただきたいと思います。

地域協議会もその日やることですか。

○支所長

その日とは別に行ないます。

○会長

ただ、平日だと、それぞれの方が厳しいところもあるので。

○支所長

この時間帯にやるとすれば、別の日です。

○会長

お仕事などを休んでまで来るというのも厳しいと思うので、地域協議会とは別の日で行うということで、いかがですか。誠に恐縮ですが、8日は、私の都合がよくなって。

○支所長

太田と中仙にも、まだ、案の案という段階なので、一応ということで柵の湯は抑えましたが、まず、こういう方向性で行ないたいということです。

○会長

開催日が変更になる可能性はありますが、内容についてはいかがですか。案によれば、秀よしさんのところに行って、奥羽山荘見学して、というような方向性でいかがですか。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

以前は、 magari 家で桂三河さんに来てもらって実施しました。ということで進めていきたいと思いますが、了承いただければ、このような方向で進めてまいりたいと思いますが、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

さきほど触れないでしまいましたが、ひとづくり・ものづくり応援事業で、協和地域のジビエの事業のひとづくりについての申請がありまして、承認されてございます。この周辺でイノシシなどが出没しているということで、駆除したものをジビエとして販売して、狩猟についても運用していきたいという考え方で、ひとづくりの方で承認されました。この地域からもそのような考え方があれば、ひとづくりの補助を受けながら、ものづくりの補助もいただけるということです。すでにみなさんご承知のとおり、峰吉川のたんぼぼを原料とした飴とかを作って商品化して販売しています。ニホンタンポポについては、種から育たないということで特殊なようですが、商品化するために、岐阜の業者で作ってもらっているようです。

南外の方では、買い物弱者の保護のためということで、温泉の近くで地域の農家の方々が作ったものを販売する、という環境づくりをしているようです。

太田の方では、ひとづくりの方で申請したものが、ものづくりの方には発展していないということでした。空き家を利用しているとのことだったのですが、交通の便があまりにも良すぎて、車や人が入っていくのが厳しいということでした。

仙北地域でも、いろいろ出されているアイデアを活用すれば、ひとづくり・ものづくり応援事業ということで補助金は確保できるかなと思います。地域枠予算以外の方法で、申請の方法などについては、支所の方でまとめて出してもらって、活用して進めていただければと思います。

地域協議会の中で話はできるのですが、実際に自分たちが率先してやるとなると厳しいものがあるので、石田さんや藤原さんのように、事業に対しての地域のリーダーになっていけばまた別でしょうけども。できれば、私は、自治会の会長あたりがもう少し率先して

動いてくれば、地域予算をもう少し活用できるのではないかなと思っていますが。地域のみなさんに情報提供ということで、やっていただければいいのかなと思います。

この他、事務局や委員のみなさんからなにかございましたか。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

それでは、長時間にわたってご協議いただきまして、ありがとうございました。今日のご苦勞さまでございました。

(午後 7時35分 閉会)

仙北地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

中村 健秀

藤原 稔
